



平成28年4月15日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 阿 波 銀 行  
代 表 者 名 取 締 役 頭 取 岡 田 好 史  
(コード番号 8388 : 東証第一部)

問 合 せ 先 執行役員経営統括部長 山 下 真 弘  
兼バリュープロジェクト室長  
電 話 番 号 (088) 623-3131

### 新経営計画「Sparkle 125<sup>th</sup>」の策定について

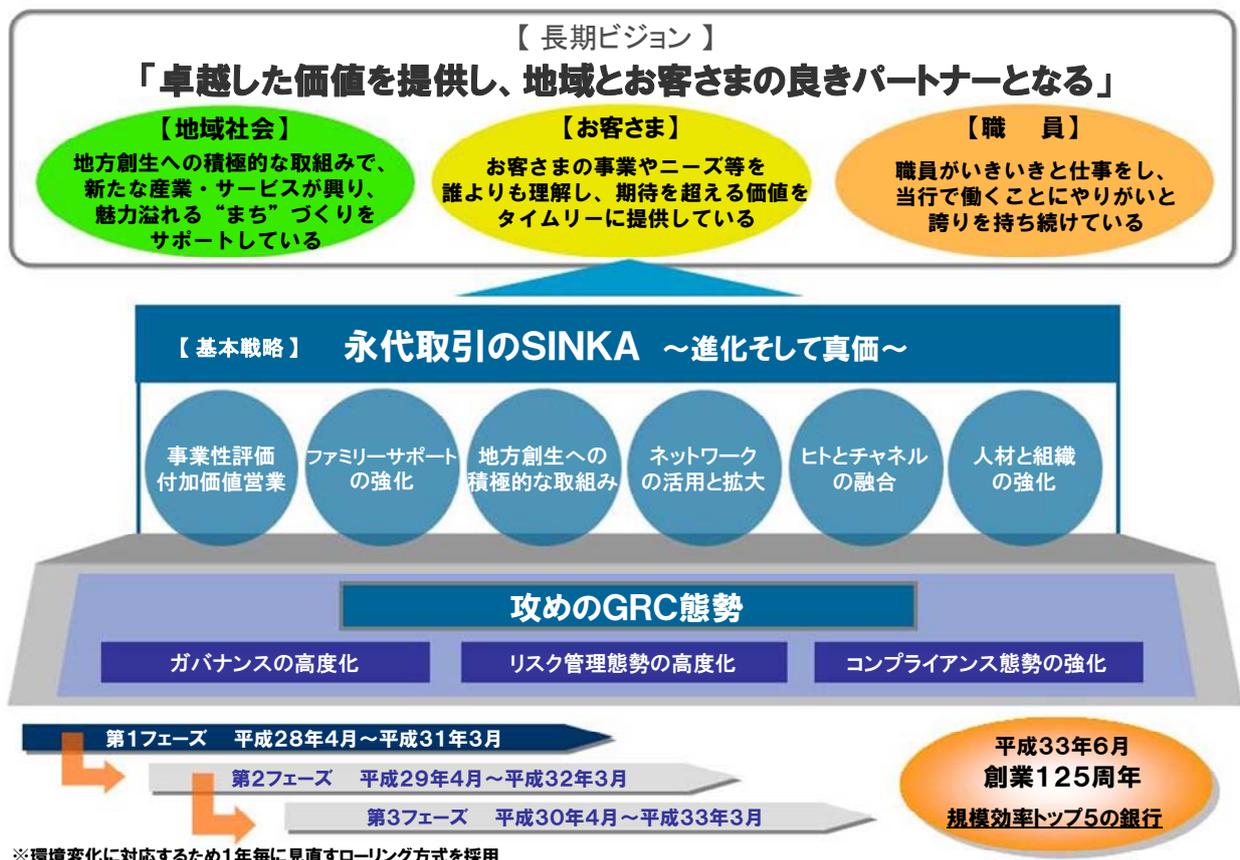
阿波銀行（頭取 岡田好史）では、5年後の125周年に向けた新経営計画「Sparkle 125<sup>th</sup>」の第1フェーズとなる3ヵ年計画を策定いたしましたので、概要を別紙のとおりお知らせいたします。

以 上

- 【 名 称 】 Sparkle 125<sup>th</sup>
- 【 テ ー マ 】 ～ 地域密着一等星銀行へ～
- 【 計画期間 】 平成28年4月 ～ 平成31年3月 (第1フェーズ3ヵ年)  
※「Sparkle 125<sup>th</sup>」の期間は5年間(平成28年4月1日～平成33年3月31日) であるが、環境変化に機動的に対応していくため、3年計画を1年毎に見直すローリング方式を採用。
- 【 基本戦略 】 永代取引のSINKA ～進化そして真価～
- 【 経営目標 】 規模効率トップ5の銀行

Sparkle(スパークル) : 煌めき、輝き、活気  
 一等星 : 自分自身で光り輝く恒星の中で最も明るい星  
 永代取引 : 目先の短期的な利益を求めるのではなく、世代を超えた息の永い取引を継続し、永続的な発展に寄与していくという当行の伝統的営業方針

長期ビジョン、基本戦略



## 地方銀行の中で規模効率トップ5の銀行をめざす

### 永代取引のSINKA ～進化と真価～

<p><b>事業性評価付加価値営業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 適正な事業性評価と真の経営課題の把握</li> <li>■ 県外営業人員の増員</li> <li>■ 新マーケットでの融資推進</li> <li>■ 国際ビジネスの強化</li> <li>■ ライフステージに応じたソリューションの提供</li> </ul>	<p><b>ファミリーサポートの強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 預かり資産営業の推進強化</li> <li>■ 無担保個人ローンの推進強化</li> <li>■ 非対面チャネルの機能拡充</li> <li>■ 富裕者・高齢者向け商品・サービスの充実</li> <li>■ 相続ソリューション営業の強化</li> </ul>
<p><b>地方創生への積極的な取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地方創生ファンド等を活用した経営支援</li> <li>■ 行政・大学・研究機関等との連携強化</li> <li>■ 6次産業化、観光客増加に向けた支援強化</li> <li>■ 企業誘致、海外展開の支援強化</li> <li>■ 子育て世帯、女性就業者への支援強化</li> </ul>	<p><b>ネットワークの活用と拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 広域ネットワークを活用したビジネスマッチングの強化</li> <li>■ あわぎんグループの連携強化と総合力発揮</li> <li>■ 外部提携先の活用・拡大</li> <li>■ 情報共有サイトの徹底活用と高度化</li> </ul>
<p><b>ヒトとチャネルの融合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 独自性のあるオムニチャネルの構築</li> <li>■ 営業支援システムの活用による情報連携</li> <li>■ フィンテックの活用</li> <li>■ お客さまの潜在ニーズを実現するオーダーメイドの価値提供</li> </ul>	<p><b>人材と組織の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業性評価力、法人営業力の強化</li> <li>■ 専門資格取得者の増加</li> <li>■ 女性行員、シニア嘱託、業務職の活躍推進</li> <li>■ CIS向上運動の徹底推進</li> <li>■ 女性活躍プロジェクト「AWA dONNA」活動の強化</li> </ul>

### 攻めのGRC態勢

<p><b>ガバナンスの高度化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 持続的ROE経営の実践</li> <li>■ 内部監査態勢の高度化</li> <li>■ 業務継続態勢の強化</li> </ul>	<p><b>リスク管理態勢の高度化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 持続的な有価証券関係損益等の計上</li> <li>■ ストレステストの充実</li> <li>■ 潜在リスクの削減に向けた取組の強化</li> </ul>	<p><b>コンプライアンス態勢の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 顧客保護・情報管理態勢の強化</li> <li>■ 事故等の未然防止態勢の強化</li> <li>■ 法制度・規制改正への能動的対応</li> </ul>
--	---	--

経営目標	(第1フェーズ) 平成31年3月期目標	(最終年度) 平成33年3月期目標
修正OHR	60%未満	57%未満
当期純利益ROA	0.4%以上	0.4%以上
ROE	5%以上	5%以上
株主還元率	40%以上	40%以上